

水の恵みを 未来へつなぐ
長野県企業局



① 慣川虹石発電所 (H2.3.1 運転開始)



(R3.4.1運転開始)



⑪ 横川蛇石発電所(R2.4.1運転開始)

②⑥ 奈良井発電所

⑪ 奥木曾発電所

電所地点(調査中)

③ 西大電発電所

信託電管理事務所

電所地點(設計中)

.....

⑥ 手山切発電所

●電所地点(調査中)

至名古屋

別(R3.4.1)連絡開始)

中央自動車道

②⑤ 松川ダム発電所

長野県企業局

22 湯川ダム地点(完成イメージ)

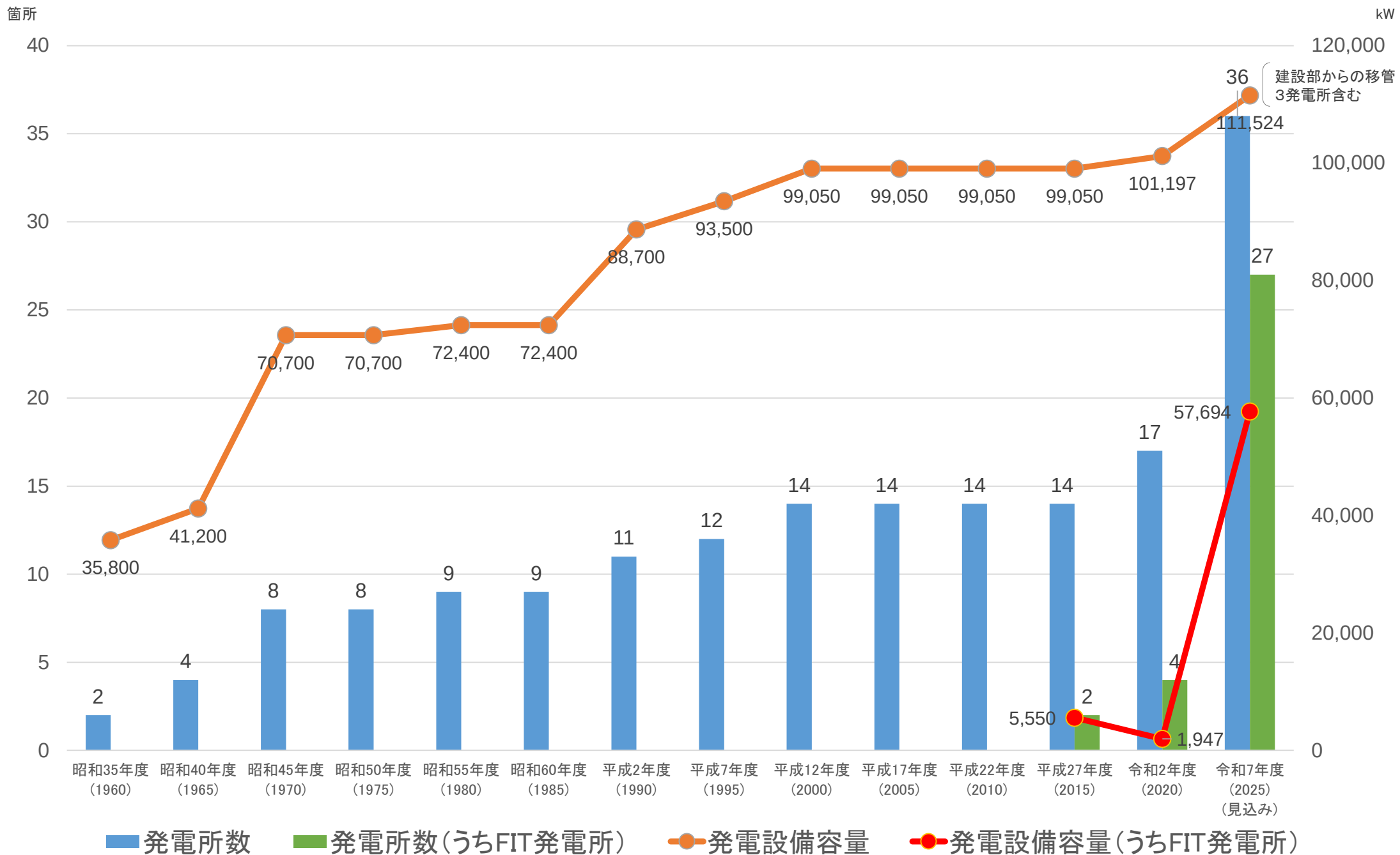


②③ 秋山地点（完成イメージ）



An aerial photograph showing the planned Akashima Dam and power station. The dam is a large concrete structure with multiple spillways. To the left of the dam is a small building, likely the powerhouse. The surrounding area is a mix of forest and open land, with mountains visible in the background.

発電所数と発電設備容量の推移



越百のしずく発電所の紹介



スケジュール

R3～5 許認可申請、土木・建設工事
R6 運転開始

発電所の特徴

- 1 与田切川上流の急峻な河川勾配と豊富で清澄な水を活かして新しい水力発電所を建設
- 2 新しい発電所で使用した水を既設の与田切発電所の導水路へ注水し、同時期にリプレースを予定する与田切発電所の発電にも使用した上で、さらに飯島町水道事業の原水としても有効利用
- 3 この2つの発電所で、8,800世帯分の電気を発電
- 4 新しい発電所は、名称を地元小中学生から公募し、地域連携型水力発電所として整備



発電所名称について

《名付け親》
飯島中学校2年(募集当時)
堀川景玄(ほりかわひろはる)さん

《命名理由》
与田切川源流の越百山にちなんで
小さな一滴が大きなエネルギー
になることを願ってつけました



名称募集にあわせて実施した総合学習の様子

横川蛇石発電所から始める「地域連携型水力発電所」の取組

計画段階から地域の皆様との対話を参画

○あらかじめ地域の皆様などにより構成する「水力発電研究会」を設置して、課題等を調査研究
○工事においては、工事車両の通行方法や親水公園の整備など地域の皆様との話し合いにより決定

発電所名称の公募

○発電所が末永く地域に親しまれ、地域の振興にも寄与できるよう、将来を担う地域の子供たちに名称を公募し、地域代表の方を構成員とした選考会を開催し選定



起工式にて発電所名称プレートの除幕



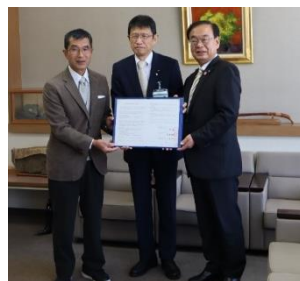
完成後の発電所に設置された名称プレート

地域の皆様との協働

○発電所の管理運営や周辺環境の維持において、市町村や地域の皆様と連携・協働関係を構築(協定締結)



地域の皆様との協働作業



協定調印式

地域の観光資源・学習の場として活用

○発電所建屋の外観は、周囲の自然環境や景観に調和したものを採用
○水力発電の学びの場として利用できる施設として、発電所内部を見学できる窓を設けたり、自然エネルギーや、水力発電所の仕組みを解説する案内パネル等を設置(見学ギャラリー)
○横川ダムの眺望がすばらしい展望デッキや周辺の親水公園を整備し、辰野町主催のスタンプラリーと連携してスタンプポイントを設置
○地域の皆様を対象とした発電所の建設や仕組みがわかる建設現場見学会を開催するとともに、運転開始後も施設見学会を開催



展望デッキ



スタンプ帳とスタンプ台



横川蛇石発電所の工事現場見学会では、平日にもかかわらず2日間で約240名の皆様が来場

災害時等の地域への電力供給

○災害時に地域の電源として使えるよう、停電時でも発電できる自立運転機能を備えて、地域の皆様も使用できる非常用コンセントを屋外に常設。今後は、地域の皆様とともに防災拠点等への電力供給についても研究。



ライトアップ中の発電所(左)



非常用コンセント(右)